



初詣サイクリング

恒例の初詣サイクリングが下記の通り開催されます。さあ来年こそ初心貫徹の意気込みで頑張ろう。

期日 昭和60年1月1日

集合 第1集合 6:00 (天覧山)

第2集合 8:00 (天覧山)

第3集合 9:00 (高麗神社)

解散 正午

主管 県西支部(人間CC・レジャーCC・ヴァレイCC)

コース 集中サイクリング(各自サイクリングで集合地へ)

地図 川越

申込 協会事務局(0488-24-2711)
谷 嘉章宅(0429-28-0787)

まで

締切 12月23日

委員会報告

12月8日午後5時より常任理事会が川口市栄町公民館で開催された。

12月10日に開催された。全国サイクリング協会代表者会議の議題となっているJCAの機構改革と会員制度の運用に対する協会の対応が話し合われた。

年末懇親パーティ 開催される

昭和59年度のSCA年末懇親パーティが県南支部の主管により、12月8日午後6時より西川口の“一源”にて開催された。

浜田会長をはじめとしてJCAから有住・鷗沢の2女性、TCAから福島・松本の両氏の参加があった。

星野理事長の閉会の言葉に続いて感謝状が“わらびCC、川口CC、芝川CC、カピトCC、電々CC”に浜田会長から贈られた。浜田会長の挨拶によると、今若手講院を中心として自転車(サイクリングを含)懇談会が結成され、自転車道路やタンデムなどの問題に積極的に取組んでいくとの明報が披露された。

鶴谷副理事長の乾杯の音頭でしばしの歓談の時を過ごす。少し酔いがまわってきたころ、皆なが持ちよったプレゼント交換があった。さすがサイクリストらしい心のこもった物が多かった。

皆が気持ち良くなったころカラオケがTCAの松本氏の美声で幕あげ、JCAの女性群の歌も出て和気あいあいのひと時を過ごす。

最後に杉山副理事長による閉会の言葉でお開きとなった。

指導者講習会開催

昭和59年度、中央指導者講習会が下記の通り開催されます。

主催 (財)日本サイクリング協会

後援 日本自転車振興会

期日 昭和60年1月25日～27日

会場 生産性研修会館

参加資格 ☆普及指導者コース

年齢25歳以上で、2級リーダー以上の資格を有し下記に該当するもの。

- (1) 協会の運営ならびに諸行事の企画・実施に協力するもの。
- (2) サイクリング及び同少年団等の指導にあたるもの。
- (3) その他、協会ならびに、JCAが特に認めたもの。

定員 80名

参加費 3,000円

申込 希望者は1月12日までに協会事務局に申し込んで下さい。

その他 詳細は協会事務局まで問い合わせして下さい。

※協会の内部審査があります。

◎洋上大学無事終わる

さる11月21日～30日に開催された埼玉県青年洋上大学は全員無事帰国されました。

副学長として参加した星野 清理事長大変ご苦労さまでした。

団員として参加したSCA会員からレポートが届きましたので、ニュースに掲載します。

◎国際青年年の事業推進について

来る1985年(昭和60年)は国際連合が提唱する国際青年年であります。国・県・民間レベルでの数々の事業が展開されます。

この度国際青年事業埼玉県推進会議から協力依頼がありました。

SCAも埼青連(埼玉県青少年団体連絡協議会)のIYY委員会に委員を送り活動に参加しています。

1. 国際青年年の重点目標

国際青年年のテーマ「参加、開発、平和」を軸として、国際青年年事業推進会議の定めた重点目標は次の通です。

(1) ボランティア活動の振興により、青少年の社会活動を促進し、自らの経験を通じて、地域社会の一人としての自覚と連帯感を深める。

(2) 青少年が文化活動やスポーツ活動を通じて豊かな埼玉を築く自覚と行動力を養う。

(3) 人間の尊厳を基盤として、青少年の科学技術への関心と理解を啓発し、きたるべき情報化社会、高度技術化社会の健全な発展に貢献しうる資質を養う。

(4) 青少年が世界と日本との関わりを知り、さらに我が国及び郷土埼玉への理解を深めることにより、諸外国の人々の信頼と理解を得られる資質を養い、相互理解の促進に務める。

☆サイクリング考☆

先日サイクリングに関する2つの記事を見る機会がありましたので、これらについて私の意見を一言述べさせてもらいます。

ひとつは自転車で世界一周の途中カナダで事故に遭い死亡した故五月女さんの遺稿・追悼集「チャリコに夢をかけた」が出版されたとのこと（朝日）。もう一つは大宮市内の高校生が秩父の天目山にサイクリングにでかけ、帰宅予定の25日になっても帰らず安否が気づかれていたが26日夜になって自力で下山し無事保護されたという記事（サンケイ）。

天目山では、昨年11月に大学生の転落死がありニュース等でも何度かお知らせしたばかりです。

いずれも自転車にまつわるものだが、このところ冒険的なことが雑誌等の記事になり、若者がすぐ飛ぶ傾向がみられる。冒険心は男のロマンの表われであり、決して否定するものではないが、物事を実行する場合には念入りの調査・研究（特に先輩等のアドバイス）や体力作りをした後にトライしてもらいたいものだ、
(文責 渡辺広次)

“Attention”

○年末年始の交通事故防止の実施について

S59.12.10～60.1.3にわたって年末年始の交通事故防止運動が展開されています。運動日程は、12月10日＝街頭広報の日、12月14日＝シートベルト・ヘルメット着用推進の日、12月18日＝飲酒運転追放の日、12月22日＝二輪車・自転車安全指導の日となっています。

会員諸氏のご協力をお願いします。

◇洋上大学レポート◇

{青年洋上大学に参加して}

本音を言いますと、今回の参加にあたっては、単に“グアム・サイパン”に魅せられ、船の寛さもなしに胸を隔らせていた私ですが、片道4日間の船酔い、食欲不振には「まいた」の一言につきまします。

動機は不純ではありませんが、メリットは大きく、やはり参加して良かったと日々感じております。

今回の参加者の中では、恥かしいことに最年長でしたが、皆の気持はとて優しく、充分にいたわってもらい、最高の10日間となりました。

常識のある“成人”対象とはいえ十人十色、キャラクターの違い、長い集団生活は難しいものの、良きクルーに恵まれ最高の日々を送ることができました。

皆様に熱く洋上大学のススメを残し、ピリオド。

新井孝子（ちちぶCC）

{ピバ!!洋上大学}

人間は決して一人では生れない。断言することはできないが、まったく孤独で充実した人生を送った人がいたであろうか。

今10日間の洋上研修を終え、この研修参加を後悔している者はいない。誰もがおもいきり、自分の意見をぶつけ、語り合い、おもいきりさわぎ、盛り上がった。そして誰もが班のため、この洋大のために尽くしてきた。それらの全ての事が自分のためになっている事を決して忘れてはならない。

人生は、出会いの連続である。このすばらしい出会いに、すばらしい時に、今心から感謝している。

金子智雄（らくだCC）



「会員紹介」

日比谷達夫
カフセミCC
会員登録番号4388
JCA普及指導者
協会常任理事

サイクリング歴) 父に連れられて子供車で、草加や水元などに行ったのがサイクリングの始まりです。その後は自宅(足立区)周辺30Km前後をセミドロップで走り回っていました。高3の時、青梅に行ったのがいい思い出です。

その後は大学の卒論の調査で週に4回位の割合で、大宮台地をサイクリングしたくらいで、余り走りませんでした。本格的に走りだしたのは協会に加入してからのことです。協会の行事に参加するようになったので、今が一番走っているのではないかと思います。

抱負) これからも協会の行事に時間の許す限り参加していきたいと思っています。一方、色々な所を走ってみたいと思っています。

横 顔 (文責 谷 嘉章)

大変真面目な人で、仕事をコツコツやるタイプ。越谷でサイクルショップを営み忙しい日々と思いますが、最近には特に協会の活動・行事には熱心に参加し活躍されています。

これからも協会活動やサイクリングの普及指導に活躍を続けて下さい。

“ こんばいら ”

オープン価格

電気製品の価格として最近表示されている。実売価格と標準価格との差が大きくなると、2重価格となり公取委の言う不当表示となるなるので、標準価格をはずし小売店で自由に価格を設定できる。

オープン価格の基準として(1)標準小売価格が15%以上の店が2/3以上あるとき。(2)標準小売価格が20%の店が1/2以上あるとき。(3)モデルチェンジで古くなったとき。

店によって価格が異なることがでてくるので、したがって物を買うときは、単なる値引だけで決めるのは注意が必要。

【事務局だより】

■12月25日～1月8日まで冬期休みになります。

■1月の事務局補助要員は次の方々です。

1/19 築比地 1/27 杉山

■2月2日(18:00)～3日(12:00)上尾のスポ研で常任理事会・指導者研修会を開催する予定です。

■来年のSCAラリーは浦和支部の主管により11月10日開催の予定です。

≪編集後記≫

■先日県の環境シンポジウムに参加した。テーマは“高度情報化社会とコミュニティ”であつたがその高度をめぐる電々公社の式場氏とジャーナリストの岡本氏とのやりとりがとてもおもしろかった。私くしも情報の研究に携さわれているが、いつも「人間社会」との関わり合いを大切にしていきたいと思っている。

■昭和59年もあつたが、このごろ時のたつのが早く感じる。時間は年に反比例するものらしいが？何ひとつ有意義な時を過したことがなかったようだ。貴方はいかがでしたか？来年こそ目標を定めてまい進しようではないか。